

東京学芸大学附属図書館報

図書館ニュース

Vol.28, No.1 (1999.6)

「真理は我らを結びつける」

- 図書館長の就任挨拶にかえて -

鷲山 恭彦

(1)

図書館という思い出すのは『国立国会図書館法』の「前文」である。

「前文」のある法律は、珍しいのではなからうか。六法全書をみても、他には『日本国憲法』と『教育基本法』ぐらいしか見当たらない。その「前文」に「国立国会図書館は、真理がわれらを自由にするという確信に立って憲法の誓約する日本の民主化と世界平和とに寄与することを使命としてここに設立される」とある。「前文」の存在は、『憲法』や『教育基本法』がそうであるように、それだけそれが強烈に、悪しき過去と決別し、新しい出発を誓う、意志と願いの強い宣言であることを物語っている。

これは歴史家であり、当時、参議院議員であった羽仁五郎が起草したのだという。氏は戦前、その民

主の思想と共和的自治の主張によって、国家主義、軍国主義、官僚主義と対決し、二度投獄されている。国民こぞって戦争に突入しようとしていた1939年、「ミケランジェロはいま生きている。疑う人はダヴィデをみよ」で始まる名著『ミケランジェロ』によって、ルネッサンス的理性をうたいあげ、民衆の真の敵を明らかにして、あの暗い時代、心ある人たちを励ましつづけたことで知られるが、戦後、国会議員に選ばれ、日本を侵略戦争と破壊に導いた、悪しき思想および制度の廃絶のために奮闘し、国民が真実を知り、自由な思想形成をすることを第一義として活躍した。

参議院の図書館運営委員長となった羽仁は、国立国会図書館を官の手から「国会」図書館として公選の国会(民)の手に移し、「真理はわれらを自由にす

	「真理は我らを結びつける」 - 図書館長の就任挨拶にかえて - (鷲山恭彦)....	1
	新・図書館サブシステムについて	3
目	お知らせコーナー	
	書架の増設について	7
	雑誌の購入中止について	7
	学生用視聴覚資料の購入について	8
次	平成11年度附属図書館委員会委員名簿	8
	電子ジャーナルのトライアルについて	9
	共通科目のための読書案内について	9
	平成11年度図書館暦(4月~9月).....	10

る」をモットーに掲げた。ここには、国民的基盤に立った図書館こそが、民主政治の確立と文化国家の建設の中心なのだという思想が貫かれている。

議会が真に国民の議会として運営されるためには、法案は政府からではなく、国会から提案されるべきだと羽仁は考え、国会図書館は、そのための立法のブレイク役と位置付けられ、そこに独自の調査機能を保証した。戦前の図書館が思想統制へ協力したこと、政治が真理に基づかず、虚偽に立脚して行なわれたこと、等々への痛恨の批判がそこにはあり、国民主権も、無知と偏狭の上に確立することはできないと考えたのである。

「図書館は、教育と同じく、今日のためにあるのではなく、明日のためにこそある」と羽仁はまた語っている。その十全な実現のために、図書館の民主的運営、設備の充実、図書館人の待遇の改善を不可欠のこととした。

ここには図書館論の核心が表明されていよう。

(2)

12年前、南西ドイツの町、スイスとの国境近くにあるフライブルク大学で4ヵ月の研究生活を送ったとき、図書館のベランダに出ると通りを隔てた大学の赤みがかかった建物の壁に「DIE WAHRHEIT WIRD EUCH FREI MACHEN」(真理は汝等を自由に)と刻んであるのを見つけた。ははん、ドイツ留学の経験をもつ羽仁さんはこれに触発されたのだな、と思った。毎日これを眺めながら過ごしたが、この言葉には、我思う理性の力によって、封建的迷妄と形而上学的霧が打ち払われ、真理に至り、この真理が人々を解放へと導いていくという確信が息づいている。まさに近代を準備し、実現せんとする言葉である。

ところが大学総長みずからこれを裏切る事件が起こった。ナチス政権が成立したばかりの1933年、フライブルク大学総長に就任したハイデッカーは「ドイツの大学の自己主張」においてナチスの世界観を称揚したのである。やがて「DIE WAHRHEIT」のところは「DIE ARBEIT」と入れ替えられ「労働は汝等を自由にする」という欺瞞的なスローガンとして、強制収容所の門に掲げられるまでに成り果てた。

ナチスドイツと日本軍国主義の崩壊の後、ハイ

デッカーによって汚されたこの言葉は、羽仁五郎によって民主化と近代化に邁進する戦後日本のモットーとされ、地球の裏側で再び生命を得たのである。

羽仁さんには個人的な思い出もある。1960年代の学生時代、丁度、戦後20年の節目に当たり、戦後民主主義についての議論が喧しかった頃、山田宗睦が『危険な思想家』を書いて、林房雄、高坂正顕、石原慎太郎などを、戦後民主主義を否定する危険なイデオログとして批判した。学園祭の講演会に山田さんと羽仁さんと呼ばうということになり、羽仁さんのお宅に伺った。開口一番「思想というものは危険なものなんだ。それを思想家にも値しない、あんなロクでもない連中に、思想家としての最高の形容詞をつけるなんて、山田君もどうかしているよ」。ズブズブ頭をガンと打たれた印象が強烈である。そうなんだ、真の思想とは、その時代において危険なものなのだ。羽仁さん自身も戦前は危険思想として迫害され、敗戦によって羽仁歴史学の真価はまさに立証されたのである。思想というもののもつ根元的意味について悟らされた瞬間だった。

「戦後民主主義を破壊したのは誰か」と題した、その時の学園祭の講演会は、大好評で、羽仁さんの講演の趣旨は、「『大東亜戦争肯定論』を批判する すべての戦死者に捧ぐ」と題して、『中央公論』に発表された。

(3)

あの時からもう30年が経つ。そして戦後から数えて既に54年、半世紀以上が経過したことになる。そしていま、時代はまさに大きな転換期を迎えている。戦後民主主義がもたらしたプラスとマイナスが、切実感をもって吟味の俎板にのる時代であり、科学技術と経済成長の近代そのものが鋭く問われている。

その中で「真理は我らを自由にする」のモットーも、色褪せて聞こえなくもない。いや、そもそも真理など存在しないのだ、とポストモダニストはいう。すべては多様で、不安定で、流動的で、相対的である。情報化社会の「シニファンの浮遊」などと言われれば、ある種のリアリティーさえ持つ。一体、どこまでが現実で、どこまでが虚構なのか。

例えば、「情報」、「知識」、「真理」などといった関係も曖昧模糊としていよう。ただ受容のレベルでい

うならば、情報とは一方的なもの、知識とはそこに主体の咀嚼がはいったもの、そして真理とは客観的現実との主体の格闘の所産といえようか。ポストモダンの現実の深部から今切実に求められているのは、やはり最後のもの、現実との格闘であり、新しい考え・真理の発見であり、客観的矛盾の解決だろう。教育問題ばかり、環境問題ばかり、経済問題ばかり。不透明を理由に、現実の混沌を黙認するには、事態はまさに世紀末の深刻さである。それは理論知と行動知の新たな結びつきの要請と言い換えてもよい。

いま一つ、切実に求められているのは、深い孤立の集積の中での、人々の新しい結びつき、連帯であろう。人は何によって結びつくのか。真実と真理をつうじてであろう。そんな、個人主義的でもなく、集団主義的でもない、人々の新しい共生。その模索はすでに様々な形で始まっている。こうした連帯と共同のなかから、現代の諸問題は、初めてよりよく解

決されていくのであろう。それは同時に、戦後民主主義が、より骨太で、より奥の深い、新しい民主主義へと転換していくための不可欠の条件でもあるだろう。

虚偽と幻想は人々を分裂させる、しかし、真理は人々を結びつけていく。羽仁さん流に言い換えるならば「真理は我らを結びつける」。これが、21世紀を迎える私たちの時代の合い言葉ではなからうか。

図書館における調査と研究、それが単に情報や知識の水準ではなく、発見の水準へ、真理の水準へ、そして人々との新しい結びつきの水準へと実を結んでいくといい。理性のしなやかな力、真理のおだやかな力への確信と共に、この図書館が、新しい生命力の血を送り出す、本学の心臓部として、そんな探求の中心の場となっていくことを願っている。

(わしやま・やすひこ 附属図書館長)

新・図書館サブシステムについて

今年度から情報処理センターの情報処理システムが更新されました。これにともない図書館でも利用者用の端末などの環境が大きく変わりました。2年生以上の方なら、図書館の端末が新しい機種になっているのにお気づきでしょう。しかし単に機械が新しくなっただけでなく、その利用面でも改善がなされています。

図書館ニュースの前号で概要については述べてありますが、今回は具体的な利用方法について少しご説明したいと思います。

1. 新しい利用者用端末

図書館内の端末は「多目的検索用端末」が1階に8台、2階に6台で計14台、「OPAC検索専用端末」が1階に4台、書庫に1台で計5台という構成になりました。

ここでOPACという聞き慣れないことばができました。この「オーパック」とはOnline Public Access

Catalogの略です。端末を使って、学芸大にどんな本や雑誌が所蔵されているか調べるためのものです。図書館に来て資料を探すなら、まずOPAC検索からということになります。

さて、今回の更新では端末の主力を多目的検索用端末に変更しました。多目的検索用端末といってもインターネットに接続したパソコンに他なりません。OPACによる蔵書の検索だけでなくCD-ROMの検索、さらにはインターネットを通して、他大学(海外の大学も)の蔵書の検索など多目的に対応できるという意味を込めています。

これらの情報入手のための「入口」として「附属図書館ホームページ」があります。ですから、学内からでも、ご自宅からでもパソコンをインターネットに接続し、図書館ホームページを覗けば、図書館にいかなくても同じ情報を入手することができるようになりました。



図1

2. 新しい図書館ホームページ

これが現在の図書館ホームページのトップページです。(図1)

図書館ホームページもシステムの更新にあわせて変更しました。ホームページはこれからもより使いやすく変更していきますが、現在のページを元に説明をしていきます。

「図書館からのお知らせ」には図書館の最新のニュースが、「図書館案内」には、利用案内などが収められています。「データベースサービス」は図書館



図2

で提供しているデータベースと学術情報センターが提供している全国総合目録(WEBCAT)の入口になっています。

また「その他」はリンク集で、教育学・心理学関連のサーバーやインターネット情報源の検索エンジンなどへの入口です。どんなリンクが張られているか覗いてみましょう。

3. データベースサービス

「データベースサービス」をクリックすると、4つのメニューが現われます。(図2)

OPACは学内の蔵書検索、CD-ROMは図書館が提供しているネットワーク対応CD-ROMの検索、SAKUSEIでは貴重書の画像や修士論文の目録など図書館で作成している6種類のデータベースの検索ができます。また、WEBCATでは学内にない資料がどこの大学で所蔵されているか調べられます。

例えばネットワーク対応CD-ROMで読みたい論文を探しだし、それが掲載されている雑誌が学内にあるかどうかOPACを検索し、もし学内になればWEBCATでどの大学で所蔵しているか検索する、ということが1台の端末で連続的におこなえるようになります。さらに、関連した情報を「その他」のリンク集を辿って集めたり、サーチ・エンジンを使って探し出して利用したりすることもすべて1台の端末で可能となりました。

しばらく前から世の中インターネット、インターネットと騒いでいますが、実際インターネット上の情報資源を使えるか使えないかで、皆さんの研究・学習上も大きな差が生じられると思います。

簡単に言えば、いいか悪いか別として、パソコンを使える、使えないで入手できる情報量に大きな差ができてしまうということです。

パソコンといっても道具ですから、「使ってなんぼ」です。特に新入生の方は積極的に使ってみてください。

4. ネットワーク対応 CD-ROM

「データベースサービス」の中の「CD-ROM」をクリックしていくとCD-ROMサーバーに接続され、CD-ROMを選択するページまで進めます。(図3)

これまでネットワーク対応のCD-ROMは「ERIC」と「PsycLIT」だけでしたが、新たに「雑誌記事索引」が加わりました。ご存じのように「雑誌記事索引」は国内で発行される学術雑誌や大学の紀要を中心とした雑誌の記事索引で、国立国会図書館が編集しているものです。いづれも24時間いつでもアクセスして検索出来るようになりました。なお、個々のCD-ROMの検索のやり方は別の機会に説明させていただきます。

OPACやWEBCATはパソコンの環境さえ整っていればご自宅からでも利用できますが、このCD-ROMサービスの提供はイントラネット(学内に限定したネットワーク)対応のため小金井地区のみとなっています。また、これまでのようにtelnetによるラインモードではなくウィンドウによる使いやすいインターフェースで提供することになりました。このため研究室から利用するためには初期設定が必要です。設定方法はホームページにも書かれていますが、ここではその要点だけを書いておきます。

5. 研究室から CD-ROM を使うには

このサービスを利用するためには、MS-Windowsを搭載したパソコンが必要です。Mac ユーザの方には申し訳ありません。しかし、Windows エミュレーターを搭載した Power Mac であれば利用可能です。

さて、CD-ROMを検索するためには、パソコンにCD-ROMサーバーから「slingshot」というソフトウェア(ブラウザのプラグ・イン)をダウンロードしてインストールする必要があります。CD-ROMサーバーに接続した後で(図4)「初期設定」を選んでください。そして出てくる「インストールメニュー」からソフトウェアをダウンロードし、“install.exe”という名前で保存します。一度ブラウザを終了させ、先程ダウンロードした“install.exe”を



図3

実行します。さらに、Windows95をお使いの方は、Windowsディレクトリ、Windows NTをお使いの方は、Winnt\System32\Drivers\Etcディレクトリの下にある、Lmhosts.samファイルにCD-ROMサーバーのIPアドレスとホスト名を記述し、ファイル名をLmhostsに変更してください。(IPアドレスとホスト名は「インストールメニュー」をご覧ください。)

雑誌記事索引を利用するためには、さらに、「DBセットアップ」が必要になります。CD-ROMサーバーに接続した後で(図4)今度は「DBセットアップ」を選択してください。そして出てくる「ZSK Setup」をクリックするとソフトウェアのダウンロードが始まります。なお、パソコンがNECの98シリーズの場合、パソコンのCD-ROMのドライブの割り当ての変更が必要となる場合があります。

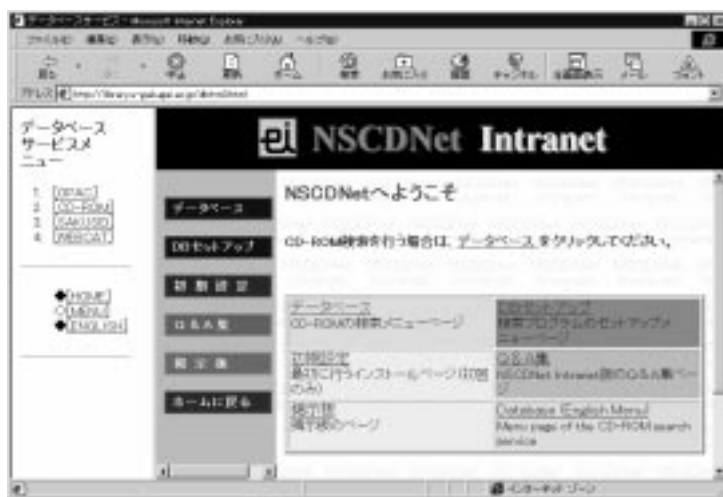


図4

6. 多目的検索用端末の使い方

繰り返しますが、多目的検索用端末といっても要はインターネットに接続したパソコンに他なりません。

普段はブラウザ（ホームページ閲覧用のソフトウェア）によって図書館のホームページのトップページ(図1)を表示させています。もし他のページが表示されていたら、慣れないうちは「ホーム」アイコンを押してトップページから検索を始めてください。

画面が暗くなっている場合がありますが、スリープ状態になっていることを示しています。リターンキーを押してみてください。しばらくすると画面が明るくなって使える状態になります。もし、パソコン本体の電源のランプが消えていたら、電源を入れてください。ディスプレイの電源だけが落とされている場合もあります。


検索の概略は「2. 新しい図書館ホームページ」や「3. データベースサービス」でご説明しました。

検索を終えたら、次に使う人のためにトップページに戻しておくようにしましょう。電源を落とす必要はありません。

7. ネットワークプリンター

ネットワークプリンターが置かれたことも今回のシステム変更の特徴です。多目的検索用端末もOPAC検索専用端末も3台から4台で一つのグループを作っていて、それぞれ1台のプリンターに接続されています。これまでは検索端末にプリンターがなかったため、検索結果を印刷できませんでした。これからはプリントアウトができるようになりました。

印刷する場合、まずプリンターの電源が入っているか確認してください。次に用紙をセットしてください。印刷する用紙はご自分で用意していただきます。

多目的検索用端末の場合、LPRユーティリティが起動していないと印刷できません。もし起動していなかったら、から「プログラム」の「OKI LPRユーティリティ」を選んでください。

ブラウザの「ファイル」メニューから「ページ設定」のウィンドウを開けば印刷時の設定を確認することができます。「ファイル」メニューから「印刷」

で印刷できます。

なお、自分で印刷命令を出したものは必ずプリントアウトしておいてください。プリント命令をだしたままで放っておくと、そのデータを印刷しない限り、次の人が印刷できなくなります。

8. マナー

最後になりますが、多目的検索用端末の利用は、図書館ホームページで提供するサービス及び学術的調査研究に使うためのホームページの閲覧だけにしてください。

多くの人を使う順番を待っています。譲り合って使ってください。長時間利用している人や他の目的で使っている人は利用を止めていただく場合があります。

レポート作成、メールや趣味のホームページの閲覧などは図書館2階にある3台のMacintoshか「端末設置閲覧室」にある21台のX端末を利用してください。ゲームはどこでも禁止です。また、いずれのパソコンや端末もソフトウェアのインストールや初期設定の変更は絶対にやめてください。正常に動かなくなったり、ネットワークに接続できなくなる原因になります。

端末設置閲覧室のX端末の利用はまず情報処理センターからアカウントをもらっておく必要がありますが、後は他の端末教室のとまったく同じに利用できます。なお、図書館のX端末ではネットワーク対応CD-ROMのうち「Eric」と「PsycLit」は検索ができるように設定していますが、「雑誌記事索引」だけは現状では利用できません。これについては、対策を検討中です。

(情報サービス課参考調査係)

お知らせコーナー

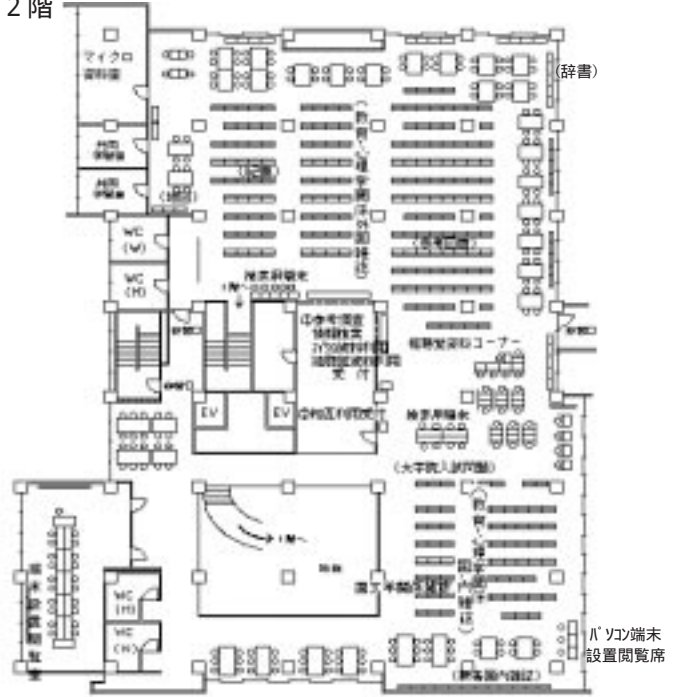
書架の増設について

図書館では3月上旬に書庫、1階、2階の書架を増設しました。これにより従来の資料配置が変更されている部分がありますのでご注意下さい。

1階



2階



書庫



雑誌の購入中止について

平成11年1月28日の平成10年度第4回附属図書館委員会において、平成11年度附属図書館備付国内雑誌・新聞購入計画が了承されました。これにより、下記9タイトルが購入中止となりました。

- 1. 化学増刊 休刊
- 2. 季刊青丘 休刊
- 3. 季刊墨スペシャル 休刊
- 4. 季刊ひろば 休刊
- 5. 現代保育 休刊
- 6. 書誌索引展望 休刊
- 7. 分析批評の授業 休刊
- 8. 婦人公論別冊 廃刊
- 9. 平和教育 休刊

学生用視聴覚資料の購入について

平成 10 年度に下記の学生用視聴覚資料を購入しました。既蔵のものと併せてご利用ください。

- | | |
|--|--|
| 用心棒 東宝
椿三十郎 東宝
デルス・ウザーラ 東宝
Shall we ダンス? 東宝
セブン 東宝
ジュマンジ ヴィデオ
フィラデルフィア ヴィデオ
ザ・コミットメンツ ヴィデオ
バロン ヴィデオ
日の名残り ヴィデオ
フィッシャーキング ヴィデオ
リトルマン・テイト ヴィデオ
レナードの朝 ヴィデオ
エグゼクティブ・デシジョン ワナホムビデオ
雨に唄えば/特別版 ワナホムビデオ
ガープの世界 ワナホムビデオ
逃亡者 ワナホムビデオ
フェリーニのアマルコルド ワナホムビデオ
フルメタル・ジャケット ワナホムビデオ
メンフィス・ベル ワナホムビデオ
ライトスタッフ ワナホムビデオ
素晴らしき哉、人生 東北新社
風の谷のナウシカ 徳間ジャパンコミュニケーションズ
ものけ姫 ビデオ
いまを生きる ビデオ
クールランニング ビデオ | ノートルダムの鐘 ビデオ
タイタニック 20世紀フォックスビデオ
ロミオとジュリエット 20世紀フォックスビデオ
インデペンデンス・デイ 20世紀フォックスビデオ
スピード 20世紀フォックスビデオ
山猫 20世紀フォックスビデオ
グランブルーの世界 20世紀フォックスビデオ
月はどっちに出ている アミューズビデオ
エビータ CICビデオ
ジュラシックパーク CICビデオ
ピアノ・レッスン CICビデオ
フォレスト・ガンブ CICビデオ
ベイブ CICビデオ
アポロ13 CICビデオ
ボーイズ・ライフ ビデオ
NHKスペシャル生命40億年はるかな旅
パネルシアターはじめの一步 紀伊国屋
はじまりはいつも図書館 全3巻 紀伊国屋
いい本みつけた 全3巻 紀伊国屋
アルコールの害 第2巻(10代の飲酒問題) 丸善
ねぶた祭り 丸善
ヴェルディ「椿姫」 ソニーミュージックビデオ
ヴェルディ「ドン・カルロ」 東芝EMI
ホール・マカトニ「リガアポール・マトリオ」東芝EMI
レオンカヴァルロ「道化師」 ホリグラム
ワーグナー「ローエングリン」 ホリグラム |
|--|--|

平成 11 年度附属図書館委員会委員名簿

所 属	学科名(研究室)	職 名	氏 名	任 期
第一部	言語文学第一学科(国文学)	教授	嶋 中 道 則	H10.4.1~H12.3.31
	言語文学第二学科(英語学英米文学)	講師	近 藤 弘 幸	H11.4.1~H13.3.31
第二部	教育学科(教育学)	教授	江 川 瑛 成	H10.4.1~H12.3.31
	生活科学学科(家庭科教育)	助教授	池 崎 喜美江	H11.4.1~H13.3.31
第三部	物理学科(物理学)	助教授	新 田 英 雄	H10.4.1~H12.3.31
	化学科(化学)	助教授	國 仙 久 雄	H11.4.1~H13.3.31
第四部	美術学科(美術)	教授	小 川 知 二	H10.4.1~H12.3.31
	健康・スポーツ科学学科(生涯スポーツ)	助教授	藤 枝 賢 晴	H11.4.1~H13.3.31
所属講座指定	教育学科	助教授	山 口 源治郎	

電子ジャーナルのトライアルについて

すでにご利用の方もいらっしゃるかと思いますが、附属図書館では現在、電子ジャーナルの試行サービスを行っています。電子ジャーナルとは、記事全文をオンラインで見ることのできる雑誌のことで、紙で出版されている通常の雑誌と同等の内容をインターネットを使って端末の画面上に表示し、印刷することができます。

現在提供しているメニューは、アメリカのThe Gale Group という会社（代理店ユサコ）が提供しているInfoTrac というデータベースです。このデータベースは幅広い学術分野の雑誌を含んでいますが、附属図書館ではこの中から、教育学・心理学系の雑誌を中心に学内で利用頻度が高いと思われる外国雑誌 150 タイトルを選んで提供しています。

附属図書館のトップページから「電子ジャーナル試行運用」をクリックし、さらに「InfoTrac」をクリックしていただければサービスに入ることができます。主題検索やキーワード検索など 4 種類の検索方法があり、検索結果の記事については、その全文を e-mail で送ってもらったり、PDF 形式等で表示・印刷する



こともできるようになっています。

学内のインターネットに接続した端末からであれば、どこからでもアクセスすることができますので、ぜひご利用ください。試行期間は、1999年8月までです。

なお、他の電子ジャーナルについても、利用可能なものについては附属図書館のホームページからリンクを張っていきますので、ご活用ください。

問い合わせ、ご意見等は下記までお寄せください。

内線：7221

e-mail：libcat@u-gakugei.ac.jp

（情報管理課目録情報係）



共通科目のための読書案内について

図書館では「共通科目のための読書案内」を本年度も発行しました。これは履修する共通科目の手引きとして、シラバスと併せて使用するだけでなく、これからの皆さんの読書生活のガイドブックとしても役立つものです。掲載されている図書は図書館にほぼ備え付けていますので、ご利用下さい。

なお、図書館ホームページにも「共通科目のための読書案内」を掲載しています。

平成11年度前期図書館暦(4月～9月)

日	4月		5月		6月		7月		8月		9月		日
1	木		土		火		木		日	休館	水	延長再開	1
2	金	3年生オリエンテーション	日		水		金		月		木		2
3	土	休館	月	憲法記念日	木		土		火		金		3
4	日	休館	火	休日	金		日		水		土		4
5	月	延長開始 3,4年授業開始	水	こどもの日	土		月		木		日		5
6	火		木		日		火		金		月	教育実習開始 ～10/15	6
7	水	入学式	金		月	教育実習開始 ～6/18	水		土	休館	火		7
8	木	新入生オリエンテーション	土		火		木		日	休館	水		8
9	金		日		水		金		月		木		9
10	土		月		木		土		火		金		10
11	日		火		金		日		水		土		11
12	月	1,2年授業開始	水		土		月		木		日		12
13	火		木		日		火		金		月		13
14	水		金		月		水		土	休館	火		14
15	木		土		火		木		日	休館	水	敬老の日	15
16	金		日		水		金		月		木		16
17	土		月		木		土		火		金		17
18	日		火		金	教育実習終了	日		水		土		18
19	月	附属図書館 オリエンテーション	水		土		月		木		日		19
20	火		木		日		火	海の日	金		月		20
21	水		金		月		水		土	休館	火		21
22	木		土		火		木		日	休館	水		22
23	金		日		水		金		月		木	秋分の日	23
24	土		月		木		土		火		金		24
25	日		火		金		日		水	休館・館内整理	土		25
26	月		水	休館・館内整理	土		月		木		日		26
27	火		木		日		火		金		月		27
28	水	休館・館内整理	金		月		水	休館・館内整理	土	休館	火		28
29	木	みどりの日	土		火		木		日	休館	水	休館・館内整理	29
30	金		日		水	休館・館内整理	金	延長終了	月		木		30
31			月	休館・創立記念日			土	休館	火				31

* 臨時休館日については、その都度掲示しますので、ご注意ください。

授業期 平日(月～金) 開館時間 9:00～22:00 休業期 平日(月～金) 開館時間 9:00～17:00
土・日・休日 開館時間 10:30～16:30

図書館ニュース Vol.27 は No.3/4 を発行せず、No.1 と No.2 で完結といたしました。